

陳情番号	陳情第15号	受理日	28.12.2
件名	原子力依存からの撤退を求める意見書採択についての陳情		
陳情者	住所	西宮市上田中町	
	氏名(団体名)	村上 啓子	

### 陳情趣旨

各地の地震活動が活性化するなか、政府は動かせばどのような事故が起きるかわからない、しかも初期の目的を果たし得ないことが明らかな高速増殖炉「もんじゅ」の廃炉を、ようやく決断したようです。しかし、まだ使用済み核燃料の再処理を続け、核燃料サイクル政策も継続するという矛盾した方針を手放そうとしていません。

原子力発電所が稼働しなくても電力は余っており、より安全で再生可能な発電への移行は可能なのに、原発再稼働を進めようとしています。住民の命と健康・暮らしを守るため、ぜひ国への下記「意見書」を採択して下さいませよう、ここに要望いたします。

### 意見書(案)

3・11の東日本大震災以後、日本は地震の活動期に入り、九州地方、鳥取地方等全国各地で次々と大きな地震が起こっている。南海トラフの巨大地震も確実に迫りつつある。地震大国、火山国の日本に原子力発電や核燃料サイクル政策の継続は到底ムリであることは明白な事実である。

同じ地震国のイタリアは、30年前のチェルノブイリ事故を教訓として、運転中、建設中、計画中の12基全ての原発から撤退した。台湾も同じく脱原発を閣議決定した。危険な原発を運転しなくても、電力は十分足りている。

人口も減り、省エネも進み、今後ますます電力の需要は減ると思われる。もはや核燃料サイクルは、エネルギーにもならず、大義名分がない。

原発の再稼働はやめ、約半世紀もかけて1.2兆円もの税金をムダに浪費した超危険な高速増殖炉「もんじゅ」はきっぱりと断念し、同じく総経費13兆円を超える再処理等の核燃料サイクル政策も中止するべきである。

以上

### 陳情事項

「原子力依存からの撤退を求める意見書」を、衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、文部科学大臣、経済産業大臣宛てに提出すること。